

## 授業科目

## 保健統計学

担当教員名 高林 知也	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	◎

## 授業の概要

保健・医療分野において用いられている統計の用語や定義を理解し、卒業研究や卒後現場でも応用できる統計学の基礎、統計の方法を学習する。

## 授業の目的

保健・医療分野で用いられる一般的な統計的手法を理解する。演習を通して、研究デザインに対して正しい統計検定を選択、正しい結果の解釈を行い、卒業研究に応用できるようになる。

## 学習目標

1. エクセルを用いて統計検定を行うことができる。
2. 正しい統計学的な検定方法を選択できる。
3. 適用した検定について、結果の正しい解釈ができる。
4. 卒業研究で使用する一般的な統計方法を理解し、自身の卒業研究に応用できる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	統計学の基礎、データ尺度や代表値を学ぶ。	講義	高林 知也
2	エクセルの基本的な使い方や代表値の計算、様々なグラフの作成方法について演習する。	演習	高林 知也
3	統計検定の流れ、1標本の差の検定を学ぶ。	講義	高林 知也
4	正規性の検定、1標本の差の検定について演習する。	演習	高林 知也
5	2標本の差の検定を学ぶ。	講義	高林 知也
6	2標本の差の検定、等分散性の検定について演習する。	演習	高林 知也
7	1) 3標本以上の検定を学ぶ。	講義	高林 知也
8	一元配置分析、多重比較法について演習する。	演習	高林 知也
9	2) 3標本以上の検定を学ぶ。	講義	高林 知也
10	二元配置分析、多重比較法について演習する。	演習	高林 知也
11	相関分析、回帰分析を学ぶ。	講義	高林 知也
12	ピアソンの相関係数、スピアマンの相関係数、回帰分析について演習する。	演習	高林 知也
13	分割表の検定、信頼性係数を学ぶ。	講義	高林 知也
14	カイ二乗検定、級内相関係数、カッパ係数について演習する。	演習	高林 知也
15	オッズ比、リスク比を学ぶ。	講義	高林 知也

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	4Steps エクセル統計 第4版	柳井久江	オーエムエス出版	2015年	4,000円+税	
参考書	リハビリテーション統計学	石川朗、種村留美、対馬栄輝 他	中山書店	2015年	2,400円+税	
	バイオサイエンスの統計学	市原清志	南江堂	1990年	4,660円+税	
その他の資料	講義資料を配布します。					

## 評価方法

演習課題（20%）、定期試験（80%）により判定します。

## 履修上の留意点

- ・前期後半3限講義、4限演習として2限続きで開催します。
- ・パソコンを用いた演習を行うため、パソコンとマウス、電源ケーブル、LANケーブルを必ずもってきてください。

## オフィスアワー・連絡先

- ・火曜日AM（E207）
  - ・takabayahshi@nuhw.ac.jp
- \* 不在の場合はメールアドレスまでご連絡ください。